

2024年度 衛生・疾病対策部会 活動報告

部会長 菅谷知男

20250623

1

TABLE OF CONTENTS 目次

- ・ 衛生・疾病対策部会について
- ・ 豚熱清浄化準備協議会とは
- ・ 衛生・疾病対策部会の成果
- ・ 衛生・疾病対策部会の今後

2

ABOUT US

衛生・疾病対策部会について

2023年に、衛生部会と豚熱対策部会が合併し、新たな部会として立ち上げられました。国内で課題となっている豚熱の問題を中心に、経営を圧迫する慢性疾病や、まだ日本に侵入していないASFの問題、バイオセキュリティ、耐性菌問題等、広く養豚における衛生問題を取り上げ、対策を検討する部会です。

2025年 JPPA総会

3

MEMBERS

委員紹介

衛生部会と豚熱対策部会が合併した際に、それぞれの委員から地域等を勘案して選出されました。

様々な地域や、規模の背生産者を中心に、日本養豚開業獣医師協会(JASV)から大井宗孝先生をオブザーバーとして派遣していただいています。

また、必要に応じて外部の有識者を招き、意見交換等も実施しています。

委員長 菅谷 知男 (農)清和畜産 千葉県
副会長 岡部 康之 (株)オーケーコーポレーション 群馬県

委員 稲吉 克仁 (有)マルミファーム 愛知県
木下 高志 木下養豚(有) 鹿児島県
木野内 理 (株)木野内ファーム 福島県
黒濱 武仁 (有)村上畜産 山形県
呼子 朗 (株)フリーデン 岩手県

オブザーバー

大井 宗孝 (一社)日本養豚開業獣医師協会
日高 省三 (株)日高スワイン 宮崎県

2025年 JPPA総会

4

4

OUR ACTIVITY

2024年度の活動①

第2回 衛生・疾病対策部会

日時:2024年7月22日(月)

場所:ワンコイン会議室新橋 605号室

- 議題1 青年部と農水省の意見交換会について
- 議題2 第11期衛生・疾病対策部会の協議事項について
- 議題3 豚熱清浄化準備協議会(仮)の協議事項について

第3回 衛生・疾病対策部会

日時:2024年10月29日(火)

場所:ワンコイン会議室新橋 605号室

- 議題1 豚熱清浄化準備協議会の方向性について
- 議題2 豚熱清浄化準備協議会の成果報告について
- 議題3 PRRSに関する情報発信について

2025年 JPPA総会

5

OUR ACTIVITY

2024年度の活動②

第4回 衛生・疾病対策部会

日時:2024年12月27日(金)

場所:WEB・JPPA会議室

- 議題1 全頭殺処分から部分殺処分への移行に関する現状について
- 議題2 部分殺処分時の安全性の担保について

第5回 衛生・疾病対策部会

日時:2024年4月30日(水)

場所:農水省会議室

(第3回豚熱清浄化準備協議会と併催)

- 議題1 衛生・疾病対策部会の次年度の課題
- 議題2 弊会実態調査における衛生関連の質問項目について

2025年 JPPA総会

6

OUR ACTIVITY

豚熱清浄化準備協議会とは

豚熱の清浄化を目的として、JPPA衛生・疾病対策部会と農水省が協力し、ロードマップの作成・部分的殺処分への移行における殺処分範囲等について、3回にわたり検討を重ねました。

7

2025年 JPPA総会

MEMBERS 参加者

農林水産省

動物衛生課
畜水産安全管理課

JPPA

衛生・疾病対策部会



2025年 JPPA総会

8

OUR ACTIVITY

2024年度の活動

第1回 豚熱清浄化準備協議会

日時:2024年7月22日(月)
場所:農林水産省会議室

議題1 ロードマップの作成に向けて

第2回 豚熱清浄化準備協議会

日時:2024年10月29日(火)
場所:農林水産省会議室

議題1 中間報告書記載のフェーズ1における取組について

議題2 フェーズ1における選択的殺処分への移行について

第3回 豚熱清浄化準備協議会

日時:2024年10月29日(火)
場所:農林水産省会議室

議題1 今後の農水省の豚熱対策の方向性について

議題2 農場における豚熱発生について

2025年 JPPA総会

9

OUR ACHIEVEMENTS

衛生・疾病対策部会の成果①

①豚熱清浄化準備協議会

ロードマップの作成・全頭殺処分から部分的殺処分の移行など、本協議会で検討した内容は、「養豚基本方針」に盛り込まれ、豚熱対策が一步前進することにつながりました。

②麻布大学 野口倫子准教授への支援

ワクチン未接種の母豚への適正なワクチン接種時期の検討が行われ、今後のワクチン接種の更なる適時接種に寄与しました

2025年 JPPA総会

10

OUR ACHIEVEMENTS

衛生・疾病対策部会の成果②

③空港防疫キャンペーンに協力

動物検疫所が行う羽田空港動植物検疫広報キャンペーンに協力し、羽田空港を利用する国内外の旅客に対して肉類の持ち込み禁止を訴えました。

また、キャンペーン後は空港内の靴底消毒場所や手荷物検査場、動植物検疫探知犬の活動を見学、動物検疫所との意見交換を実施しました。動物検疫所とは今後もASFをはじめとする海外悪性伝染病の侵入防止のため、互いに協力して防疫を強化していくことで同意しました。

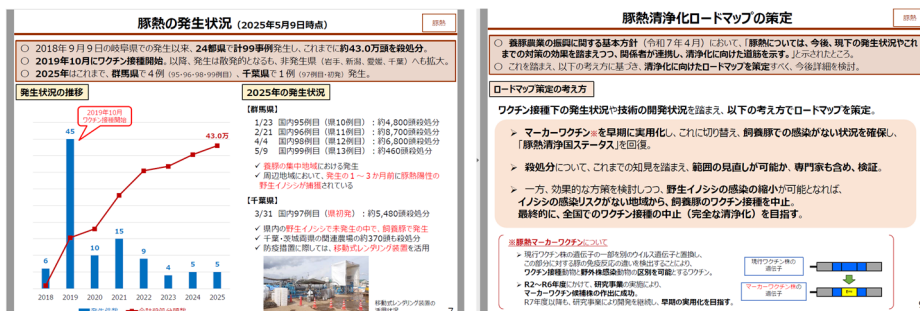
2025年 JPPA総会



11

OUR ACHIEVEMENTS

農水省の方針について



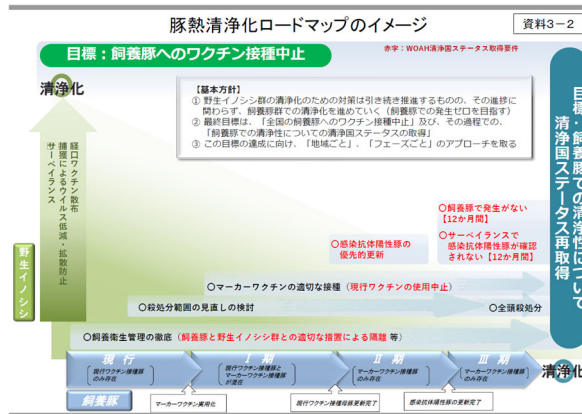
国の食料・農業・農村政策審議会家畜衛生部会(5/13)、牛豚等疾病小委員会(5/21)で検討され、ロードマップは6月中をめどに公開できるよう調整中。また部分的殺処分について、母豚の殺処分対象除外が上記委員会です承を得られたことから、具体的な方法を検討している。肥育豚についても引き続き前向きに議論する予定とのこと。

2025年 JPPA総会

12

OUR ACHIEVEMENTS

清浄化までのロードマップについて



まずは、WOAHのステータス回復を目指すことを目標として、最終的にはイノシシを含め、国内から豚熱ウイルスをなくすことを目指します。

道は遠く険しいですが、実現に向けて1つひとつクリアしていきましょう！

13

2025年 JPPA総会

OUR ACHIEVEMENTS

殺処分範囲の見直しについて①

- ・ロードマップの策定にあたり、WOAHステータス回復が目前となるステージⅢに至るまでの間、全頭殺処分から部分的殺処分への移行を検討することを、豚熱清浄化準備協議会において農水省と共に検討してきました。
 - ・殺処分を見直すにあたり、重要なことは
 - ・ウイルスを残留させない科学的な根拠があること
 - ・生産者のコンセンサスをとること
- の2点になります。

14

2025年 JPPA総会

OUR ACHIEVEMENTS

殺処分範囲の見直しについて②

・殺処分範囲の科学的根拠については、専門家等の意見など踏まえ、国の牛豚等疾病小委員会等で検討を進めています。

・一方で、生産者のコンセンサスをとることは、私たち生産者にゆだねられる部分が大きいです。

少なくとも、JPPAという団体としては同じ方向を向いていなければなりません

2025年 JPPA総会

15

OUR ACHIEVEMENTS

殺処分範囲の見直しについて②

・殺処分範囲の科学的根拠については、専門家等の意見など踏まえ、国の牛豚等疾病小委員会等で検討を進めています。

・一方で、生産者のコンセンサスをとることは、私たち生産者にゆだねられる部分が大きいです。

少なくとも、JPPAという団体としては同じ方向を向いていなければなりません

では、生産者のコンセンサスとはなんなのでしょうか？

2025年 JPPA総会

16

Which one will you choose? 皆さんにお聞きします

**Q1 豚熱が発生した時、
部分的殺処分にしたほうが
よいと思いますか？**

YES ・ NO

2025年 JPPA総会

17

17

Which one will you choose? 皆さんにお聞きします

**Q2 近隣や、と畜場が同じ農場で
豚熱が発生した時、
部分的殺処分で問題ない
と思いますか？**

YES ・ NO

2025年 JPPA総会

18

18

OUR ACHIEVEMENTS

殺処分範囲の見直しについて③

こうした質問に対して、皆さんの回答が一致することが **コンセンサス=合意** です。

部分的殺処分にしたほうがよい、ということは多くの生産者の願いですが、その範囲等については、考え方が大きく違っているでしょう。

それぞれの考え方をすり合わせて、「落としどころ」を見つける必要があります

2025年 JPPA総会

19

まずは、豚熱をよく知って、
できること・できないことを
整理していく必要があります。

2025年 JPPA総会

20

20

衛生・疾病対策部会の今後

- ・ 農水省のロードマップ完成、部分的殺処分の実現
- ・ PRRS強毒株等、慢性疾病の情報収集
- ・ 養豚専門獣医師と生産者の関係強化
- ・ バイオセキュリティに関する知識の普及

衛生に関する全般について情報収集・提供を実施していきます

ご清聴ありがとうございました